

「流出予測」に関する検討

流出解析 WT は、流域委員会において、流出予測結果に基づく基本高水等の審議・議論が論点を明確にして行えるよう、「予測流出量」を「予測のための与条件」によって整理し、とりまとめる。

したがって、「与条件（条件設定）」は幅広く設定し、流域委員会でいろいろな視点からの審議・検討に備えられるようにする。すなわち、流出解析 WT は、出来るだけ網羅的あるいは包括的に「条件設定」を行うこととする。

1) 入力降雨（100年確率降雨）条件

- ・ 引伸ばし方法・引伸ばし倍率
- ・ 時間分布・地域分布の考え方（降雨観測点数など）・・・流域分割

2) 土地利用条件とモデルへの導入（モデル定数などの設定）

- ・ 予測における土地利用状況（対策にかかわる土地利用条件の設定は除く）
- ・ モデル定数の設定値（1次流出率、飽和雨量等）

3) 予測結果の取りまとめ・作表の方法

- ・ 予測流出量（ピーク流量）を与条件で整理

作表

入力降雨

引伸ばし倍率2.0以下の降雨・・・（カバー率の考え方）

引伸ばし倍率2.0以上を含む降雨+棄却基準（時間・地域分布）・・・（棄却判定の考え方）

（日雨量観測点数・時間雨量観測点数・観測地点など）

入力降雨 （洪水） （年月日）	流出量 （ピーク流量）	引伸ばし倍率 （2.0以下）	観測点数		備考 （時間雨量観測地点）
			日雨量	時間雨量	

入力降雨 (洪水) (年月日)	流出量 (ピーク流量)	引伸ばし倍率 (2.0以上を含む) (棄却基準適用済)	観測点数		備考 (時間雨量観測地点)
			日雨量	時間雨量	

斜面モデルの条件設定

	市街地	畑地	水田	ゴルフ場	池	山林
1次流出率	0.8	0.3	0.0	0.3	0.0	0.3
飽和後流出率	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
定数： C	60	210	800	190	800	290

(標準値：土木技術資料 1977) (水理公式集 1999)

	市街地	畑地	水田	ゴルフ場	池	山林
1次流出率	0.6 - 0.9	0.15	0.0	0.3	0.0	0.25
飽和後流出率	1.0	0.6	1.0	1.0	1.0	1.0
定数： C	50 - 240	210	1000	190	800	290
	市街地	粗造成地		ゴルフ場・放牧地		丘陵山林地
定数： C	60 - 90	90 - 120		190 - 210		290

飽和雨量： 同定・再現における山林の同定値・・・ p. 6-57 表6.6.8

(標準値：土木技術資料 1977)

	市街地	畑地	水田	山林
飽和雨量 (mm)	55	300	50	150